

奈良・人と自然の会

第三回東海自然歩道を歩く会

(白毫寺～鹿野園～円照寺)

シニア8期 松本 厚子

11月17日(日) 晴 気温13℃ 27名

近鉄奈良駅 9:10分 出発してすぐ興福寺の境内の松にヤドリギ科のマツグミが付いていた。今は緑色の実が見えるが春、赤く熟れば食べられるそうです。そして路地をたどると瑜伽神社があり、そこは遷都によって移り来た女官が明日香を望めるこの高台で往時を偲んだと言う、そしてこの地を奈良の飛鳥と呼んだ。

ここの石段を登っていくと、イチョウ、モミジ、タラヨウの赤い実とそれは見事なコントラストでした。また次の天神社でもオガタマ、カリン、サクラそれにエノキの大木にヤドリギ科ヤドリギが付いていました。もう一種、東部緑地公園のネズミモチとサザンカにヒノキバヤドリギが付いていた。この木は私の目の高さにあり鳥の運んだ種子が木の枝にくっついて、そこで根をおろしネズミモチやサザンカの養分を頂いて生きている姿をじっくり観察でき、植物の戦利戦略に感動しました。

新薬師寺を経て自然歩道の合流点から白毫寺を横目に鹿野園の紅葉を垣間見る。この辺りは静かな田園風景が広がり、陽だまりでは、ツリガネニンジン、ノハラアザミ、ヤマホトトギス、ハキダメギク、ノグシ、どうゆうわけかホトケノザもたくさん咲いていた。そして八阪神社の石灯籠を見て農業用水溜池の土手で昼食、そこで奈良盆地は湿地が隆起して出来ており、等高線に添って高い所ほど古い建造物がある。この山の辺の道は60～70mに位置していると教えて頂いた。そしてなだらかな坂道を上下しながら落ち着いた雰囲気のある円照寺に到着しました。

シャシャンボ、ソヨゴ、ゴンズイ、ナナミノキ、トキリマメなど木の実、又識別できた鳥、ハシブトカラス、ホオジロ、モズ、カワセミでした。

冬晴れの“北山の辺の道”を行く

[第4回 東海道自然歩道・自然観察会 12月14日実施]

出口育宏

ここ2、3日の寒波もゆるみ暖かい冬の朝、近鉄奈良駅「行基菩薩」前は人でいっぱいである。「野鳥の会」のパーティなどウオーキングスタイルの人々。我々「奈良・人と自然の会」のメンバーも34名の大パーティである。

今日のコースは、奈良から三輪へ通じる大和で一番古い官道“山の辺の道”を帯解から天理まで歩く。その昔、平城遷都では元明天皇の長い行列が通ったことでしょう。

奈良の道は、何の変哲もない道でも歴史への思いが偲ばれる。いやいや今日の道には、どんな自然の贈り物があるか楽しみのスタートである。

烏（からす）啼（な）きて木に高く、人は畑（はた）に麦を踏む。

げに小春日（こはるび）ののどけしや。

かえり咲（さき）の花も見ゆ。

これはご存知の「冬景色」の2番で田園の昼をうたったものである。今では麦を踏む姿こそ目にしないが、この歌のような景色が所々に見える。植物博士が多数おられ、次々と解説がされメモをとるのに忙しい。（メモばかり取ってどないするんや、いつになったら覚えるんや。すんまへんといった会話が自分の頭のなかで行われる。）

わたしにとっての今日一番の印象は、花がなくなった冬の道で真っ赤に色づいた木の実の美しさでしょう。常緑の緑の中に鮮やかな赤が目につく。

“どうぞ食べて遠くに運んでください。わたしの子孫が別の地でまた育ちます。”

と言った植物のメッセージでしょうか？

なかでもハイライトは、「サネカズラ」と「カラスウリ」ではないでしょうか。早速、家に帰って調べました。この2つはバッチリ覚えたぞ。

でも調べているうちに、また課題が出来てしまった。それはカラスウリの花を観察しなければならない。（メモを参照して下さい。）

MEMO

【サネカズラ】

常緑のつる性の木本。雌雄異株。

秋に実を結ぶがこの様子が美しいために実蔓（美しい実のかづらの意）という名前がついた。この実は薬用として利用され、咳止めなどの効果がある。

別名のピナンカズラ（美男蔓）は枝の皮に含まれる粘液水を混ぜてびんつけ油の変わりに整髪に使った。

【カラスウリ】

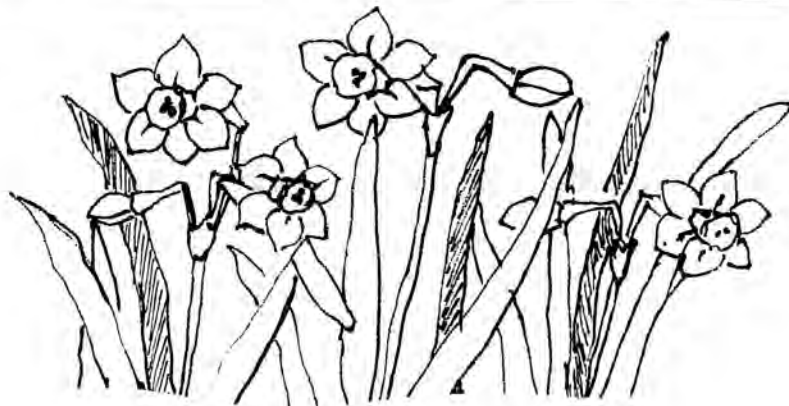
ウリ科のつる性の多年草。雌雄異株。

スズメガの仲間に花粉を運んでもらうために白や黄の明るい花をつけよい香りを漂わす。（花期：カラスウリ 7～8月。キカラスウリはかなり長い。）

カラスウリの花は日の暮れるころに開き、朝日が昇るころにはしぼんでしまう。

キカラスウリの花は、夜が明けても咲いている。

星型に開いた花には純白の美しいレース状の飾りがつく。



自然保護について

寺田正博

森林インストラクター

国際自然保護連合（IUCN）の解説では「自然保護」の英語は、はじめnature protectionが用いられ、その後nature conservationになっている。そのころは「自然の賢明で合理的な利用」にあるとされた。

英語圏では自然保護には次の五つの段階でのアプローチがあるとされています。

プレザベーション preservation（放置）：自然度が最も高く、まったく人の手が入っていない場所では、どんなことがあっても放置しておく。例えば、アメリカの国立公園のプレザベーション地域では、自然発火の山火事が起こった場合でも消火作業しない
プロテクション protection（防御）：文明の脅威から自然をプロテクトしようという考えで、人工的な建造物は勿論避け、人間が入るときも自動車などで入ることは避ける
コンサベーション conservation（保全）：日本の自然保護団体もこの言葉をよく使っているが、コンサベーションは「人間が管理して良好な自然状態にしておく」という意味がある。

リストレーション restoration（復元）：自然のバランスが崩れたところを、なるべく元に戻すために人間が手を入れることで、例えば鹿が増えすぎると減らすこともするし植生の中で、ある種の植物や樹木が多くなりすぎた場合もそれを減らす。

リハビリテーション rehabilitation（回復または再生）：人間の自然破壊により完全に壊れてしまった自然を、回復したり再生したりする行為。荒地に植林したり、三面張になっていた川を近自然工法で工事し直すことなどを含む。

このような五段階の方法のなかで、どのケースを選ぶかを決め、自然との関係のしかたを導き出すのが大切とされている。

参考文献 沼田 真「自然保護という思想」、稲本 正「森の自然学校」。

ネイチャーなら

奈良・人と自然の会

第6回 東海自然歩道・自然観察会のご案内

東海自然歩道の自然観察会も全コースの中間点に入り、三輪山沿いに大神神社からボタンの花には少し早いですが長谷寺まで、春寒の初瀬街道を自然観察行います。気楽にご参加ください。

〈コース名〉 ⑥ 初瀬街道 [11km]
〈日 時〉 2月11日（火） 9時20分 集合
〈集合場所〉 近鉄桜井駅：改札口

近鉄ナンバ〔奈良行快速〕8：34発・鶴橋 8：40 乗換・〔青山町行快速〕8：43発・八木9：15・桜井9：19
〈行 程〉 JR 三輪駅～大神神社～海拓榴市観音～長谷寺～近鉄長谷寺駅
〈担 当〉

豊島すみ子（

寺田正博

弓場厚次）

奈良・人と自然の会
[ネイチャーなら]
[2月度例会]のご案内 奈良公園野鳥観察会

<日 時> 平成15年2月27日(木) 午前9時30分集合
<集合場所> 近鉄奈良駅、行基菩薩像前
<行 程> 興福寺⇒博物館⇒鷺池・荒池⇒新公会堂⇒三月堂
⇒知足院⇒大仏池⇒依水園⇒近鉄奈良駅
<持ち物> 弁当、水筒、双眼鏡(スコープ)、図鑑など

担 当: 長野 晃

2003年1月度定例幹事会報告

1. 日 時: 2003年1月10日(金) 18:00~21:00
2. 場 所: 奈良県社会福祉センター3F 会議室(畝傍)
3. 出席者: 川井、谷口、樋口、寺田、弓場、勝田、豊島、大寺、小山(欠席者、有本、野田)
4. 司 会: 川井 書 記: 小山

5 議 事

報告事項

- (1) 会員動向 1名入会 会員数70名、来年度入会予定者2名
会計残高 149,022円(H14.12.末現在)
- (2) 定例行事 12月 7日(土) 12月例会 「奈良公園のムササビ観察」 参加人員10名(樋口)
12月14日(土) 第四回東海自然歩道を歩く会「山の辺の道Ⅱ」参加人員33名(弓場)
紀行文 寄稿有り、マップ 小山作成済
- (3) 西大和学園 ボラ体験の件 候補地二案を内田先生に提出済、1月末返事予定(川井)
1案 金剛小吹台 竹の間伐、竹炭窯場の見学
2案 畝傍西側 雑木林の間伐

承認事項

- (1) 備品調達の件 (1) 工作用具 「木の実あなあけセット」(学研) 購入
(2) 会旗 次期総会までにロゴマークを決める

討議事項

- (1) 企画、編集、事務局の体制なので各部会で新年度の活動方針を出すこと
- (2) 各会員の方々のご意見を「アンケート」の形でお聞きしたらどうか、と言う提案有り、検討する
(例えば、メダカの観察、伐採ボランティア、等)
- (3) 行事の確認
2月11日(火) 第六回東海自然歩道観察会「初瀬街道」 (担当豊島)
2月27日(木) 2月定例会 奈良公園「野鳥観察」 (担当長野)
3月 8日(土) 第七回東海自然歩道観察会「鳥見山公園」(担当谷口)
3月26日(水) 3月定例会 大宇陀路を歩く「野草園見学」(担当弓場)
4月 7日(月) 第八回東海自然歩道観察会「額井岳山麓」(担当川井)
5月10日(土) 第九回東海自然歩道観察会「室生寺Ⅰ」 (担当勝田)
6月 8日(日) 第十回東海自然歩道観察会「室生寺Ⅱ」 (担当勝田)

以上

編集後記

各部の決定事項や連絡事項は1月20日までに下記までお送りください。

連絡先 有本 倍美:

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫